

◇ 令和4年度指定管理者事業評価書

施設名	玉川まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,992,000円	/	18,093,624円	効果的な予算執行が行われた。	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
施設HPアドレス	http://hagi-tamagawa.jpn.org/		2年目	18,032,000円		16,993,771円	コロナ禍で大きな事業の中止・縮小があった。	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
指定管理者名	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議		3年目	18,523,464円		17,533,300円	適切な経理管理が実施された。	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的に基づき、事業計画および予算の適切な執行について、地域の特質を検案し、玉川の独自性を発揮した事業展開が行えるよう創意工夫を図り、利用者が安全・安心に利用できるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を尽す。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和もあり、事業については計画どおり利用者のニーズを踏まえながら実施され、地域住民の交流を図られた。今後は労務管理について考慮しつつ、新規イベントの定着に期待したい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) ・コロナ対策の緩和もあり、当初予定の事業もほぼ実施できた。 ・「玉川萩まつり」と「みなくさまつり」に加え、新規イベント「BKCウエルカムデー」と「Let`sみなくさ防災ウィーク」が加わったため、10月から12月にかけて職員の時間外労働が大幅に増加した。 ・昨年9月はコロナで貸館は無かったが、今年は徐々に緩和され事業も計画通りに実施でき、利用者数も増加している。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。(利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務（仕様書P7）				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	コロナ感染拡大防止のため市の方針を踏まえ、来館時の検温や備品使用後の消毒は継続。貸館については、貸館件数・利用者数ともに前年度比で増加した。	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	貸館件数・利用者数の増加目標は達成できなかったものの、前年度比で増加している。
	下半期評価	上期同様コロナ感染拡大防止策は継続して行った。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守し、適正に実施された。新型コロナウイルス感染対策についても、消毒・検温を徹底された。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

施設及び備品の維持管理等（仕様書P9）				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	仕様書に定める点検を実施するとともに、迅速に修繕を行うことで安全な施設管理に努めた。	上半期評価	施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施された。また、まちづくり協議会名義のクレジットカードを取得されたことから、使用マニュアルを作成され、適切に運用された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書に定める点検を実施するとともに、迅速に修繕を行うことで安全な施設管理に努めた。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定める基準を遵守し、事故なく安全な施設管理を行われた。今後も適切な保守管理業務等に努められたい。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務（仕様書P10～11）				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	仕様書に定める講座・講演の開催や情報発信に努めた。中学校の職場体験の受け入れや大学と協力した小学生対象の体験事業など地域との協力が図れた。	上半期評価	仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	講座については、立命館大学の留学生と協力して、小学生を対象とした体験事業を実施された。
	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書に定める講座・講演の開催や情報発信に努めた。様々な講座を企画して多くの方が参加された。	下半期評価	仕様書等に定められた基準を遵守し、利用者のニーズに合った事業を実施された。今後は地域のまちづくり拠点として、住民主体となる施設活用に期待したい。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

経営管理に関する業務（仕様書P9～10）				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	コロナ感染が徐々に収まりつつある中で、適性な組織運営のもと、事業等は計画通りに実施できた。各種団体の活動や、大きなイベントも感染対策を取りながら進めている。	上半期評価	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	経費節減の取組については、各諸室の電源をこまめに切るなど節電を徹底された。
	下半期評価	上半期に引き続き、適性な組織運営のもと、事業等は計画通りに実施できた。10月から12月にかけて当初計画の「萩まつり・みなくさまつり」以外に、「BKCウエルカムデー」と「Let'sみなくさ防災ウィーク」が加わったため、職員の時間外労働が大幅に増加したことから、労務管理を徹底していきたい。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置や適正な経営管理に努められた。職員の職場環境のさらなる向上に向けて、労務管理の徹底に期待したい。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		